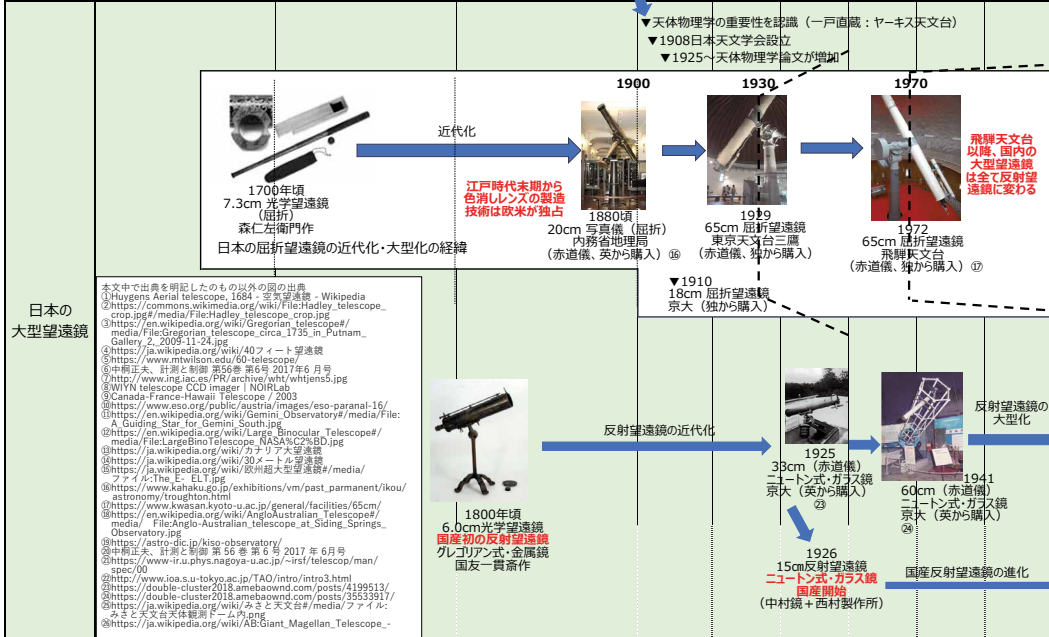
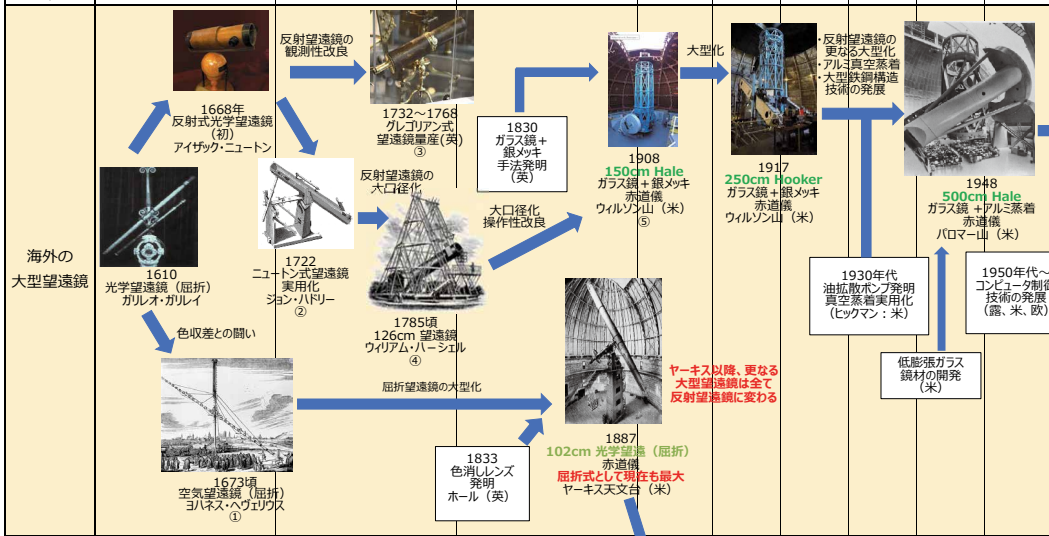


年代	17世紀	18世紀	19世紀	1900	1910	1920	1930	1940	1950
	主な光学系材料	単レンズ	金属鏡	色消しレンズ	(銀メッキ)	ガラス鏡			
架台構造				赤道儀方式					
星像分解能と光学系補正				数10秒角~秒角台 (推定)					
	補正なし (主鏡等のハッパ支持)								



年代	20世紀	21世紀				
	1960	1970	1980	1990	2000	2010以降
主な光学系材料	色消しレンズ		(アルミ蒸着)	ガラス鏡	(蒸着、スパッタリング、用途によってアルミ、銀、多層膜を選択)	
架台構造	赤道儀方式	経緯台 (Az/EL) 方式				
星像分解能と光学系補正		10秒角~数秒角台 (推定)	数秒角~0.1秒角台	0.01秒角台		
	補正なし (主鏡等のハッパ支持)	能動光学		能動光学+補償光学 (Adaptive Optics)		

